

JR東労組盛岡

No.78

2022年3月3日
東日本旅客鉄道
労働組合
盛岡地方本部

〒020-0045

盛岡市盛岡駅西通二丁目16番31号
発行人 佐々木克之
編集人 情宣部
NTT 019-623-1011 FAX 019-624-0157
JR 033-2238・2239 FAX 033-2230

盛地申10号 本日会社に提出！

「大雪による通勤災害に対し、管理者が「障害」で処理する指示をしたにも関わらず、「欠在」となり賃金カットされた事象」に関する緊急申入れ

2022年1月13日、会社へ申請している通勤手段・通勤経路での出勤途中に、道路が大雪で通行不可となり、う回路も通行不可となる旨を管理者に連絡し「障害」で処理する指示を受けました。その後、除雪を行い安全に通勤しましたが、後日支社より「欠在」の扱いを受けて2時間6分の賃金カットを受ける事象が発生しました。そもそも、**管理者により「障害」の取扱いの指示を受けて出勤したにも関わらず、後日「欠在」となる事象は、管理者指示を信用・信頼してきた組合員が不利益を被ることとなり、職場の信頼関係に大きく関わってきます。**このようなことが発生すれば、現場は支社に対して、社員は管理者に対して、または管理者同士での信頼関係を築くことができず、隠ぺいが横行し「風通しの良い職場」「働きがいのある職場」はもとより、支社経営計画でめざされている「信頼を高める」「社員・家族の幸福の実現」の目標が達成できないと危惧しています。また、管理者判断が覆されるようであれば管理者としても判断が難しくなり、「判断できる管理者像」とは程遠い状況となってしまいます。異常時にこそ現場判断を尊重し、フォローできる体制を構築しなければなりません。

現場での判断を尊重し、支社と現場が一体となって安全で働きがいのある職場を構築するために盛岡支社に緊急申し入れを提出しました！

1. 2022年1月13日に発生した事象に関する支社の見解を示すこと。

また、支社は現場の判断を尊重し、本事象で発生した賃金カットを取り消すこと。



**この情報を見ている社友会の皆さん！他人事ではありませんよ！
組合員はもとより、盛岡支社で働く全ての社員に関わる問題です！**

**特に異常時は現場判断が重要となります。その現場判断を簡単に覆してしまえば、
現場で判断できなくなり、信頼関係を損ないます。
全組合員で風通しが良く、働きがいのある職場を創出しよう！**